

製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社

住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F

電話番号 03-5566-8705 FAX番号 03-5566-8682

作成 2001年10月 2日

改訂 年 月 日

整理番号：

製品名 AGRIMER VEMA AN-216VS

物質の特定 単一製品・混合物の区別
：単一製品
化学名 ①メチルビニルエーテルル・無水マレイン酸
共重合物
含有量 ① 98%以上
②トルエン2%(最大)
化学式 ① $(C_4H_2O_3 \cdot C_3H_6O)_n$
② C_7H_8
官報公示整理番号：化審法・安衛法
：① (6)-914
② (3)-2
CASNo. ① 9011-16-9
② 108-88-3
国連分類及び国連番号：非該当
PRT法：第1種(②)に該当
安衛法通知対象物質：該当②

危険有害性の分類 分類の名称：分類基準に該当しない
危険性：可燃性の粉体
有害性：
環境影響：

応急措置

眼に入った場合：清浄な水で十分洗い流す。
コンタクトレンズはすぐ取り外す。
異常が残るようであれば医師の手当を受ける。
皮膚に触れた場合：水及び石鹼で洗い流す。
吸入した場合：患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にして、異常を感じるようであれば、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合：水を飲ませた後、指を喉に差し込んで吐かせる。
異常を感じるようであれば、医師の手当を受ける。

火災時の措置

消火方法：

- 一般火災と同様の消火方法をとる。
燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素、シアン化水素等が発生する恐れがあるので注意を要する。

(2) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用する。

消火剤 : 噴霧水、泡(耐アルコール)、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置

- (1) 粉塵が飛散しないようにし、できるかぎり掃き集め、回収する。
- (2) 下水等に入り込まないように注意する。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : (1) 発散した粉塵を吸い込まないように、必要に応じ適切な保護具を着用して作業する。
(2) 粉塵の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つように努める。
(3) 取扱場所では火気、火花、アークを発する物又は高温点火源を使用しない。
(4) 粉塵の発生する取扱場所を使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は静電気対策を講じる。
(5) 強酸化剤及び還元剤との接触をさける。
- 保管 : (1) 貯蔵場所では常に整理整頓及び清掃に努め、みだりに不必要な可燃物を放置しないこと。
(2) 貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

暴露防止措置

管理濃度 : 50 ppm

許容濃度 : 日本産業衛生学会勧告値 (2000年版)

時間荷重平均 : 50ppm 皮

粉塵の場合(第3種粉塵)

吸入性粉塵 2 mg/m³

総粉塵 8 mg/m³

ACGIH(2000)勧告値

時間加重平均(TWA) : 50ppm 皮

粉塵の場合(一般粉塵) TLV-TWA

吸入性粉塵 3 mg/m³

総粉塵 10 mg/m³

設備対策 : 粉塵の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。

保護具 : 保護マスク、保護眼鏡、保護手袋

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- (2) 健康診断を定期的実施する。
- (3) 安全衛生教育を実施する。

物理 / 化学的性質

外観 : さらさらした粉体
比重 : データなし
沸点 : データなし
融点 : データなし
蒸気圧 : 不揮発性
蒸気比重 : 不揮発性
溶解性 : 水にゆっくり溶解
その他 : pH 5.0 ~ 11(1 g/100ml 水溶液)

危険性情報(安定性、反応性)

引火点 : なし
発火点 : データなし
爆発範囲 : データなし

反応性 : 一般的な取扱い及び貯蔵においては安定である。
強酸化剤及び還元剤との接触を避ける。

自己反応性 : 特になし

粉塵の発生する場所では、粉塵爆発が起こる可能性があるため発火源に注意する。

有害性情報

刺激性 : 皮膚 ウサギ 微かな刺激性 (類似物質での試験)
眼 ウサギ 最小刺激性 (洗眼あり及びなし)
(類似物質での試験)
感作性 : データなし
急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ 7,000 mg/kg (類似物質での試験)
腹腔 ラット LD₅₀ 800 mg/kg
経皮 ウサギ LD₅₀ 14,000 mg/kg
皮下 カエル LD₅₀ 920 mg/kg
腹腔 マウス LD₅₀ 1,120 mg/kg
亜急性、慢性毒性及び発がん性 :
動物の長期暴露で肝臓、腎臓、肺、脾臓に異常が見られた。
以上の結果から人間のも肝臓異常が起こることを示唆している。
変異原性 : ヒトリンパ球の姉妹染色体交換で陰性
エームズ試験 陰性
DNA 損傷 E.coli 1 ppm
催奇形性 : 動物の吸入及び経口試験で胎児毒性、催奇形性が認められた。
ラットとマウスの吸入試験で催奇形性は認められなかった。
代謝・排泄 : データなし

環境影響情報

生分解性 : データなし
生態影響 : データなし

廃棄上の注意

- (1) 廃棄は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (2) 焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。
- (2) 梱包が破れないように水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。

主な適用法規

消防法 : 指定可燃物 合成樹脂類 (3,000 kg)
(トルエンは毒劇法の劇物)

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常の手続きを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さい。お願い

い申し上げます。

参考文献

- 1) ISP TECHNOLOGIES INC. MATERIAL SAFETY DATA SHEET